

【解答にあたっての注意】（一般試験用）

- 一 専門試験は、史料解読と日本史学の二つからなる。
- 一 史料解読については、問一から問四までの四問のなかから二問を選択して解答しなさい。
- 一 日本史学については、問題文の指示に従って解答しなさい。
- 一 解答は問題ごとに別紙の答案用紙を用い、いずれも縦書きで記しなさい。
- 一 史料解読（二問）と日本史学の配点比率は、一対一である。

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻
分野・専門 日本史学

問題種別 専門試験
試験科目 日本史学 科目

問一 次の八つの語句のうちから三つを選び、それぞれについて説明せよ。

弾正台 位祿 草戸千軒町遺跡 幕府の乱
天明の大飢饉 武家諸法度 伊藤博文 満州事変

問二 次の設問に答えよ。

日本史における米の歴史的意義について、古代から近現代に至るそれぞれの時代における特質を念頭に置きながら論じなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 史料解説科目 附一

問1

次の史料を読んで以下の設問に答えよ。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

典拠：黒板勝美編『新訂増補国史大系 頼家三代格』吉川弘文館、三三三〜四頁、一九三六年

- (一) 傍線部 a 「承和十四年十月十四日格」はどこまでか。末尾の四字を記せ。
- (二) 傍線部 b 「而府司等、不遵行符旨、猶致違期、非唯闕国用、還狎慢朝章、論之格条、罪在不宥。」を、漢字仮名交じりの書き下し文にせよ。
- (三) 傍線部 c 「番省任中累、全企得解由」を、漢字仮名交じりの書き下し文にした上で、その内容を可能な限り具体的に説明せよ。
- (四) 傍線部 d 「浮浪之輩」と対になる語を、史料の中から抜き出せ。
- (五) 承和十四年十月十四日格で定められた内容と、貞観十三年八月十日格で加えられた内容について述べた上で、その違いが生ずる背景について説明せよ。
- (六) 西海道諸国の調について知るところを述べよ。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本史学

試験科目 史料解説 科目 問二

問二

次の史料を読んで以下の設問に答えよ。

『冬平公記』嘉元元年（乾元二、一三〇三）八月五日条（[]内は細字部分）

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

典拠：増補史料大成刊行会編『増補史料大成』三六、臨川書店、一九六五年、二五二頁

- (一) 傍線部 a 「朝餉」の読みを記せ。
- (二) 傍線部 b 「雅俊朝臣仰曰」について、「雅俊朝臣」は記主よりも地位が低いにも関わらず「仰曰」と表記されている理由を説明せよ。
- (三) 傍線部 c 「本朝年号打返之例無之。然而准漢家例、無他字者、被用之条、何事有哉之由、有沙汰。」を、漢字仮名交じりの書き下し文にし、現代語訳せよ。
- (四) 本条は、改元に関する政務についての記述である。これに関して次の①～③について答えよ。
 - ① この政務の名称を記せ。
 - ② この政務の手順を史料に基づいて述べよ。
 - ③ ②で述べた手順からうかがえる、この政務の特徴、性格について述べよ。

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻
分野・専門 日本史学

問題種別 専門試験

試験科目 日本史学 科目別 〇

問三 別の史料①～⑤を読んで、以下の問いに答えよ。なお、②は①の表題および本文五ヶ条部分の翻刻である。

(一) 史料③の一条め・二条めの大意を述べよ。

(二) 史料④を解釈せよ。

(三) 史料①は、本文に引き続いて別の用紙を貼り継いで本文の内容を補充するところに特徴が見いだせる。ここで貼り継がれた別の用紙には、⑦どのような紙が用いられ、⑧また通常のようなことが書かれ、⑨本文の内容をどのように補充したのか、説明せよ。

(四) 史料①②三条目のうち、②では空欄となっている部分を楷書体で補いなさい。

(五) 史料①②一条めに見える「此四人」は、史料④の宛先に見える四人や史料⑤の二条めに見える「奉行共五人」と通じる人物群である。これらの四人ないし五人の職業について、史料③④を踏まえながら説明せよ。次に、それら四人ないしは五人の人物群と、史料⑤で連署する六名や史料⑤冒頭に見える五名の人物群との関わりについて、通説的理解だけでなく、史料③の内容をも参照しながら述べよ。

以上を踏まえて、資料①～⑤を通じて知られるこの時期の政治史を略説せよ。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻
公開 専門 日本史学

問題種別 専門試験

試験科目 史学専攻 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

（出典：大塚城天守閣 木下政文集）

*貼り紙された文書の文面は、具体的
読み取りを要しない。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻
分野・専門 日本史学

問題種別 専門試験

試験科目 日本史学 科目

別添②

別添③
別添④

㉞

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

㉟

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

㊱

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

㊲

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 国史

試験科目 国史 科目 72

問四

史料A（別紙）及び史料B（ア）～（ウ）は、一九〇七年九月十二日に公布された「軍令第一号」に関連する史料である。これを読み、設問に答えよ。

設問

- (一) 「軍令第一号」案の内容を説明せよ。
- (二) この軍令案が立案された理由を、史料B（ア）～（ウ）を参照しながら、説明せよ。
- (三) この時の内閣総理大臣の名を答えよ。またこの人物が総理大臣を務めた前後の時期の政治状況について知るところを述べよ。
- (四) 史料Aの傍線①の箇所を楷書体に書き改めよ。
- (五) 史料B（ウ）の傍線②の「上諭」について、史料Aにはそれに該当する文言がある。その箇所を抜き書きしなさい。
- (六) この軍令案の公布に至る過程について、史料A④～⑥の内容に言及しながら説明せよ。
- (七) この軍令第一号は「軍令」に関して初めて規定した法令である。この軍令の公布に至る手続きには、史料Bの（イ）、（ウ）の規定と照らし合わせたとき、整合性の点で問題を含んでいる。その問題点を指摘せよ。

【史料B】

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【出典】史料A『公文類聚』第三十一編、明治四十年第一巻政綱・皇室典範（国立公文書館所蔵）
 史料B（ア）『官報』明治二十二年十二月三十日、（イ）『公文類聚』第十三編、明治二十二年第二巻
 官職一（国立公文書館所蔵）、（ウ）『官報』第七〇七五号、明治四十年二月一日

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 国文学

試験科目 国文学 科目 国文学

<B1読取>

⑦

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

⑧

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

⑨

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 Web ページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験
試験科目 西洋史学 科目

以下の (A)、(B) から一つを選び、その選択したテーマについて、西洋史上の具体例を示しつつ、可能な限り幅広く論じなさい。

(A) 文化変容 (acculturation)

(B) 歴史叙述 (historiography)

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 英語 I 科目

I 次の文章をよく読んで、下記の問に答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【Glenn Burgess, ed., *The New British History: Founding a Modern State, 1603-1715* (London, 1999), pp. 12-13.】

問1 (1) の文章を日本語に訳しなさい。

問2 (ア) に入る英語 (1 語) を答えなさい。

問3 (3) の文章を日本語に訳しなさい。

問4 (イ) に入る英語 (1 語) を、文章中から探して答えなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 英語Ⅱ科目

II. 現代アメリカの「労働」に関する次の文章をよく読んで、下記の設問に答えなさい。

①

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

②

③

【Joseph A. McCartin, "Labor," in *A Companion to 20th-Century America*, ed. Stephen J. Whitfield (Malden, MA: Blackwell, 2004), p.249.】

問1 段落①の内容に即して、20世紀初頭と20世紀末のアメリカでは労働がどのように変わったかを3点に簡潔にまとめなさい。

問2 段落②を日本語に訳しなさい。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 西洋史学

試験科目 仏語 科目

以下の文章を読み、下記の問に答えなさい。

①

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

②

③

出典 Pierre Riché, *Les Carolingiens. Une famille qui fit l'Europe*, Hachette Littératures, 1997, pp. 9-10.

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部②の内容を、本文に即して説明しなさい。
- (3) 下線部③を日本語に訳しなさい。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻
分野・専門 西洋史学

問題種別 専門試験
試験科目 ドイツ語 科目

以下のドイツ語の文章は、中世のバルセロナ伯の文書に「ギリシア人 greco」として言及されている人物たちについて考察した論文の冒頭部分である。この文章を読んで、下線部(1)、(2)、(3)を適切な日本語に訳しなさい。

(1)

(2)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(3)

T. Freudenhammer, Eine "griechische" Handelskolonie im Barcelona des 10. Jahrhunderts, in *VSWG* Band 103, 2016, 5-7. Franz Steiner Verlag

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史学

試験科目 日本・東洋・西洋の美術

問題 下記の A,B 二つの語群からそれぞれ一つ以上の項目を選び、計三項目について説明を加えよ。

【注意】

- ・三項目が二枚の解答用紙に収まるよう論述の量を工夫すること。
- ・解答は、語群の順番通りでなくともよい。
- ・解答の冒頭に、解答する項目名を記すこと。

A 群

1. シャルトル大聖堂
2. 《貴婦人と一角獣のタピスリー》
3. ボッティチェッリ 《ヴィーナスの誕生》
4. マネ 《フォリー＝ベルジュール劇場のバー》

B 群

1. 頂相
2. 詫磨派
3. 名所絵
4. 見立て

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史学

試験科目 英語

問題 図を参照しつつ、下記の英文を和訳しなさい。

なお、英文中の Academy は、図の団扇を所有するホノルル美術館のことである。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典: *Honolulu Academy of Arts Selected Works*, 1989 by Honolulu Academy of Arts, p102.

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 美学美術史学

試験科目 漢文

- 問一 右の漢文を書き下し文に直しなさい。
問二 右の漢文の大意を記し、美術史上の意義を述べなさい。

【注意】 解答用紙は一枚使用のこと。（一枚の内に二問の解答を収めること。）

【語注】

拊掌 手をたたく

（蘇軾「書戴嵩画牛」、『中国画論類編』所収本）

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者により許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 考古学

試験科目 考古学 科目

1. 考古学に固有の研究方法を三つ列挙し、それぞれの特色を述べなさい。
2. 「古墳時代早期」をめぐる議論について、知るところを述べなさい。
3. 日本列島における土器製塩の採鹹工程について、知るところを述べなさい。
4. 地方官衙に関する考古学的研究について、その現状および問題点を述べなさい。
5. 考古学の発達に寄与した次の学者について、その果たした役割を略述しなさい。
(1) 檜崎彰一 (2) 江坂輝彌
6. 考古学の発達に重要な役割を果たした次の遺跡について、その学史的意義を述べなさい。
(1) 先苺貝塚 (2) 紫雲出山遺跡
7. 次の遺跡・遺物について、知るところを述べなさい（遺跡については所在地を記すこと）。
(1) 黒井峯遺跡 (2) 大西貝塚
(3) 東奈良遺跡 (4) 有茎尖頭器

大学院入学試験問題
(一般入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化人類学

試験科目 専門科目

問1. 以下のテーマ群の中からテーマをふたつ選択し、それぞれのテーマについて、具体的な事例をあげながら自由に論述しなさい（解答用紙は、テーマごとに各1枚使用すること）。

- ・ 妖術と邪術
- ・ 伝統医療と近代医療
- ・ 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション
- ・ 地域文化と世界遺産
- ・ 神話と象徴表現
- ・ レヴィ=ストロースとブルデュー
- ・ 人の国際移動とナショナリズム
- ・ 科学技術と人類学

問2. 次の英文を読み、内容を簡潔に要約しなさい（全訳する必要はありません）。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した
入学試験問題に該当する箇所については、本Webページ
での公衆送付について著作権者により許諾を得ていない
ため、これを削除し、出典名等を記載することとしま
す。

(出典：Evans-Pritchard, E. E., *Social Anthropology*, Cohen & West, 1951 より)

大学院入学試験問題
（一般入試）

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化人類学

試験科目 フィールドワーク科目

- 問. 近代以降の文化人類学のフィールドワークの原理を簡潔に整理して述べたうえで、あなたが修士研究においておこなう予定のフィールドワークの内容について、全体の研究計画と関連させながらできるだけ詳細に書いてください。
調査の目的（何を、どこまで明らかにしようとするのか）、調査項目、調査手法、調査の際の留意点や心構えについて、今日のフィールドワークを取り巻く状況を考慮しつつ、自由に記述してください。